

「ヨーロッパと日本の多発血管炎性肉芽腫症の症状・予後の比較検討（多施設国際共同研究）」  
への御協力をお願い

2000年1月より2012年4月までの間に本院で多発血管炎性肉芽腫症(ウェゲナー肉芽腫症)と診断され治療を受けられた方へ

研究機関名 岡山大学

責任研究者 岡山大学 腎・免疫・内分泌代謝内科学 教授 槇野博史

分担研究者 岡山大学 腎・免疫・内分泌代謝内科学 講師 佐田憲映

## 1. 研究の意義と目的

この病気の症状や予後が、ヨーロッパと日本の間で異なるかどうかを検討することで、欧米で行われた臨床試験結果をわが国の患者さんに適用する際に注意することなどが明らかになり新規治療の開発につながると思われます。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象：

2000年1月より2012年4月までの間に本院で多発血管炎性肉芽腫症(ウェゲナー肉芽腫症)と診断され治療を受けられた患者さんです。全国13施設で100例～150例程度の患者さん(当院では約10例)のデータを収集する予定です。

### 2) 研究期間：

平成25年7月24日～平成27年11月30日

### 3) 研究方法：

2000年1月より2012年4月までの間に本院で多発血管炎性肉芽腫症(ウェゲナー肉芽腫症)と診断され治療を受けられた患者さんで、研究者が診療情報をもとに下記のデータを選び、コンピュータ分析を行いヨーロッパの患者さんとの違いを調べます。

### 4) 調査票等：

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、家族歴、既往歴
- ・ 診察所見、治療内容、血液や尿、レントゲン・CT、生検結果などの検査データ

### 5) 情報の保護：

調査情報は岡山大学腎・免疫・内分泌代謝内科学内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成25年10月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・連絡先>

住所：〒700-8558 岡山市鹿田町二丁目5番1号

電話：086-235-7235 FAX：086-222-5214

医療機関名 岡山大学病院

所属：腎臓・糖尿病・内分泌内科

職名：講師 氏名：佐田 憲映 e-mail：[sadakenn@md.okayama-u.ac.jp](mailto:sadakenn@md.okayama-u.ac.jp)